



網走市、大空町東藻琴 オホーツク網走農業協同組合『長いものを米国、台湾へ』

【主な品目】

長いも

【主な輸出先国・地域】

米国、台湾

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 平成25年時、国内市場は安値が続いており、また、各産地が豊作基調となったため輸出を検討。東南アジアへの輸出は価格競争となる不安から、当時輸出実績の少なかった米国へ試験的に輸出を開始。その後、小ロットではあるが東南アジアへ輸出を開始したが新型コロナウイルス蔓延等があった為、仕向け先を絞った。

【輸出実績】（平成25年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和4年度	12,181	324	通年
令和3年度	6,238	203	
令和2年度	4,261	126	

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 中国産長いものの品質向上に伴い、品質面と価格面での競争が激化。秀品と優品の割合を変更したが、品質面での課題が残ったため、選果基準を再度確認・強化した。
- 海外での食品安全基準に対応するため、選果施設においてHACCPを取得。
- 新型コロナウイルスの状況下においても密な連携を継続可能であったアメリカと台湾に販売先を集約し、販売支援を強化した。

【今後の課題・展望】

- 輸出量はピーク時より減少しているが、海外から求められる品質・コスト・ロットでの生産や海外の規制等に対応した「グローバル産地」の形成が必要なことから「グローバル産地づくり推進事業」を活用し、将来を見据えての販売基盤整備を行っている。今後は、現地へのマーケットインも考慮しつつ、継続的かつ安定的な販売を行いながら、価格に見合う商品価値の創出を目指す。
- 規格外等の全規格について、加工品用途を含めた提案を行う。また、出荷時におが屑等の緩衝材が輸出先国現地で産業廃棄物になっているため、緩衝材を減らし、長いもの積載量増加等を目指した物流提案を行えるよう、調査を実施していく。

【活用した支援・施策】令和元年度グローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <http://ja-okhotskabashiri.or.jp>

【連絡先】 担当者名：農産部販売企画課

TEL:0152-43-2311



HACCP認証の箱で国内外へアピール



現地（ロスアンゼルス）スーパーマーケットでのチラシ配布、販売員配置でフェアの実施



現地ニーズに対応するため
長いものパッキングセンターを稼働